



2025年6月16日

各位

会社名 株式会社アストロスケールホールディングス  
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 岡田 光信  
(コード: 186A 東証グロース市場)  
問合せ先 取締役兼 CFO 松山 宜弘  
(TEL. 03-3626-0085)

## (開示事項の経過) 防衛関連ミッション契約「Orpheus」に関するお知らせ

当社は、2025年1月14日に「[新規ミッション契約獲得に関するお知らせ](#)」において、英国連結子会社である AstroScale Ltd が、政府プログラムの一環として BAE Systems plc から新規ミッションに関する契約を獲得した旨を公表しておりました。契約金額は5.15百万英ポンド（税抜、10.0億円※）です。

従前の開示時点においては、プロジェクト概要につきまして、契約相手方の意向を踏まえた守秘義務から非開示としておりましたが、この度、契約相手方より開示許諾が得られましたので、速やかにお知らせいたします。

なお、当該ミッションは、決算説明資料等においては「BAE Systems 案件」と記載していたものです。

### 1. 受注内容

受注先 : BAE Systems plc  
受注金額 : 5.15百万英ポンド（税抜、10.0億円※）  
契約期間 : 数年間  
サービス : In-situ Space Situational Awareness (ISSA)

(※) 2025年1月10日現在における為替レート（1英ポンド=194.58円）により換算。

プロジェクト概要につきましては、次頁のプレスリリースをご参照ください。

### 2. 今後の見通し

本件の影響は、当社予算レート（1英ポンド=175円）により換算し、2026年4月期通期の連結業績予想に含めております。本件に関する収益は契約期間にわたって計上される予定です。

以上

## アストロスケール英国、宇宙状況把握の能力を強化する 515万ポンドの防衛契約を獲得

持続可能な宇宙環境を目指し、スペースデブリ除去を含む軌道上サービスに取り組む株式会社アストロスケールホールディングス（本社：東京都墨田区、創業者兼 CEO 岡田光信）の英国子会社である Astroscale Ltd（以下「アストロスケール英国」）はこの度、英国防衛省の執行機関である国防科学技術研究所（Dstl）より、515万ポンドの契約を獲得したことをお知らせいたします。

宇宙インフラへの依存が世界的に高まる中、宇宙天気、軌道混雑、軌道での敵対的行動、といった脅威も増加しています。保険市場「ロイズ・オブ・ロンドン」によると、深刻な太陽嵐などの極端な宇宙天気事象は最大 2.4 兆ドルの世界経済損失を引き起こす可能性があり、電離層の乱れは衛星通信、ナビゲーションシステム、重要な防衛インフラに深刻な影響を及ぼすとされています。

このような状況を踏まえ、英国の宇宙能力を強化する重要な一歩として、共同宇宙アーキテクチャの構築を目指す国際的な取り組みの一環である Orpheus（オルフェウス）ミッションは、宇宙天気の理解を深めるとともに宇宙状況把握（SSA）の能力を向上させることを目的としたものです。

本契約において、アストロスケール英国はサブコントラクターである Open Cosmos と提携します。迅速な宇宙データ取得を可能にする高度な CubeSat ソリューションを提供する Open Cosmos は 2 機のほぼ同一の小型衛星を設計・製造し、アストロスケール英国は軌道上での実績と経験を活かし、編隊飛行を行い重要なデータを収集するこれらの衛星を運用します。また、電離層を観測するためのペイロードは、米国海軍研究所、バース大学、Surrey Satellite Technology が開発しています。

本プロジェクトは 2028 年までの 3 年間で設計から打上げ、運用までのミッション全体を実施します。地政学的・環境的リスクが高まる中、オルフェウスミッションは、英国および同盟国の宇宙運用を保護するための重要な知見を提供します。

### アストロスケール英国社長 ニック・シェーブのコメント

Dstl オルフェウスミッションは、防衛分野および国家安全保障を支援する革新的なミッションを提供する我々の能力を示す重要な機会です。2021 年の ELSA-d ミッションや 2024 年の ADRAS-J ミッションでの実績を活かし、ミッションの成功だけでなく英国の国際的価値を示すことに貢献してまいります。

### Dstl CEO ポール・ホリンズヘッド博士のコメント

宇宙天気の変化は、ナビゲーション、通信、データ伝送を担う衛星に重大な影響を与える可能性があります。国際的なパートナーとの協力による宇宙研究への継続的な投資は、英国の宇宙における利益の安全を強化します。

## Open Cosmos CEO ラフェル・ジョルダ氏のコメント

宇宙領域把握（SDA）を強化するオルフェウスミッションでアストロスケール英国と協力できることを大変嬉しく思います。我々の衛星ソリューションは、電離層を観測し宇宙インフラを守るための重要なデータを提供します。このミッションは、イノベーションを推進するとともに、宇宙資産の安全を確保するための協力の力を示すものです。

本契約は、Serapis フレームワークの下、同フレームワークのリード企業である BAE Systems を通じて締結されました。

## アストロスケール について

アストロスケールは、軌道上サービスの世界的リーダーとして、安全で持続可能な宇宙開発に取り組んでいます。当社は衛星の寿命延長、故障機や物体の観測・点検、衛星運用終了時のデブリ化防止のための除去、既存デブリの除去など、多様で革新的な軌道上サービスソリューションを提供します。2021年3月以降、アストロスケールは ELSA-d や ADRAS-J のミッションにおいて軌道上で RPO 技術を実証し、軌道上サービスのリーダーとしての地位を確立してきました。アストロスケールの宇宙機は、宇宙航空研究開発機構

（JAXA）や米国宇宙軍、欧州宇宙機関（ESA）、英国宇宙庁（UKSA）、Eutelsat OneWeb との先駆的なミッションに採用されています。宇宙機の定期的な点検、移動、除去、寿命延長のためにより多くの衛星運用者が軌道上サービスを導入し、循環型宇宙経済の可能性が広がり、より持続可能な宇宙の未来が開かれつつあります。本社・R&D 拠点の日本をはじめ、英国、米国、フランス、イスラエルとグローバルに事業を展開しています。

アストロスケールウェブサイト：<https://astroscale.com/ja/>

### 【本件に関するお問い合わせ先】

アストロスケール広報

E メール：[media\\_asjp@astroscale.com](mailto:media_asjp@astroscale.com)